

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	DRK青山スタジオ	公表日	2026/03/27
------	-----------	-----	------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	0.0%	法令遵守で確保しています。更にトレーニング、公園利用なども使って工夫しています。	ニーズに合わせて使用利用や目的も変えています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%	0.0%	法令遵守で配置しています。	会員様が増えているため、スタッフ間では人員を増やしてほしいとの声がある。お子様の十分な安全管理を考え、引き続き雇用を進める予定。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	85.0%	15.0%	必要に応じてスタッフが補助に入っています。	扉の鍵が複数あり、管理が大変。児童が一人で鍵をかけることもある。対策が必要です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	1日の開始時と終了時の両方で消毒を行っています。	段差が多いため、安全管理を徹底していきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	0.0%	個別の部屋が2部屋あり、必要に応じて環境を選べるようになっています。	トレーニング室を主に使用していきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100.0%	0.0%	PDCAサイクルに基づき業務改善に向けて終礼昼礼で共有して取り組んでおります。	引き続きスタッフ間でコミュニケーションを取りながら、取り組んでいきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	保護者様と面談する機会を設けております。またケース会議を行うことでスタッフ全員に面談内容を共有しております。	風通しの良いスタジオを目指して引き続き保護者様と密にお話しさせていただきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	昼礼終礼時に職員で意見を出し合う時間を毎日設けております。	管理者による職員の面談を定期的に行います。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	70.0%	30.0%	定期的なモニタリングや関係機関連携などを実施しています。	満足のいく形でモニタリングの実施を行っていないため、改善していき、より情報共有や連携に繋げていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	定期的に研修を行っております。	研修動画等を使用し、積極的に学べる環境を作っていきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	少なくとも半年に一度支援計画を更新し保護者様に公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	管理者・児発管が面談を行い、その内容をスタッフ間で共有しケース会議をしたうえで計画を作成しております。	引き続き、スタッフでニーズの漏れがないように全員が把握している環境を作っていきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	ケース会議をスタッフ参加で必ず行っております。	引き続き必ずケース会議を行います。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	支援計画が出来た際には全員に目を通すようにスタッフ間で共有しています。	引き続きスタッフ間の共有を行います。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%	今後実施予定です。	研修等参加予定です。
16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	支援計画に記載しております。	ニーズに合わせて今後は家族支援や地域連携にもより力をいれていけるよう検討していきます。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	担当療育士を中心にいつでもスタッフ間で相談できるようにしております。	よりスタッフ間で話し合える様に昼礼終礼を活用していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	担当制にせず色々な資格のあるスタッフが担当するようにしております。ケース会議、研修でプログラムの充実を話し合っております。	引き続き研修等を定期的に開いて更に充実させていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	ニーズに合わせて小集団療育を取り入れております。また、毎週日曜日は小集団のフィールド療育を行っております。	ニーズに合わせて、個別活動と集団活動をそのお子様に合わせて計画作成の支援ができるように努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	85.0%	15.0%	スタッフルームにてその日の割り振りを確認しながら行っております。	当日支援に入る担当職員の裁量に任せられることが多い為、チームの連携の強化を行ってまいります。
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	終礼時に行い話し合い事項を業務日誌に記録しております。	引き続き行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	必ず記録取り、今年度の記録はいつでも見れるように鍵付き書庫の上段に保管しております。	引き続き徹底してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	少なくとも半年に一度保護者様と面談し、支援計画を見直ししております。	見直しの際によりお子様に合った計画書になるように保護者様とのコミュニケーションやスタッフ間でのお子様の様子の共有を引き続き行っ
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100.0%	0.0%	ガイドラインを組み合わせ合わせて行っております。	地域交流の機会はごみ拾いイベントだけでなく違うイベントも提供できるように考えてまいります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%	療育時間内にお子様のやりたいことに挑戦する時間を設けております。	小集団療育なども活用し、お子様が自分で考えて決定する機会を引き続き沢山作ってまいります。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	児童発達支援管理責任者・管理者が参加しております。	引き続き参加してまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	0.0%	ニーズに合わせて行っております。	ニーズに合わせて積極的に連携してまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%	ニーズに合わせて行っております。	今後もニーズに合わせて積極的に行ってまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	55.0%	45.0%	当スタジオは多機能施設なので、児発からご利用のお子様は特に情報共有させて頂いております。	外部連携は満足のいく形で実施をできていないため、定期的な連携が出来るように努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	85.0%	15.0%	前例がないのですが、今後ニーズに合わせて提供してまいります。	今後ニーズに合わせて対応してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100.0%	0.0%	ニーズに合わせて行っております。	引き続きニーズに合わせて積極的に助言を頂いたり、研修を受けたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	25.0%	75.0%	今年度も行っておりません。	ニーズに合わせて検討してまいります。
関係機関や保護者との連携	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100.0%	0.0%	今年度は参加しておりません。	今後参加予定です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	フィードバック時や保護者の来所時などに積極的にコミュニケーションを取るようしております。LINEなども活用し相談しやすい環境を作っております。	引き続き保護者様にとって相談しやすい環境を作れるように努力してまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	85.0%	15.0%	現在行っておりません。	今後の状況次第やニーズに合わせて対応してまいります。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	契約時に説明しております。	引き続き分かりやすく明確にお伝えしてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	保護者様来所時に積極的に話しかけるようにしたり、子供達とのコミュニケーションを頻繁に取るようにしております。	引き続き保護者様やお子様とのコミュニケーションを大事にして参ります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	保護者に説明して実行しております。	引き続き分かりやすく説明できるように努力してまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	面談時やLINE、来所時などにお話し頂いております。気になる保護者様には面談をご提案しております。	引き続き、相談しやすい事業所であるよう積極的に保護者様とコミュニケーションを取ってまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15.0%	85.0%	現在は行えておりません。	ペアレントトレーニングや保護者会はできていないためニーズを確認しながら検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	すぐに児童発達支援管理責任者もしくは管理者がお話しさせて頂くようにしております。	今後も迅速に対応できるようにレポートラインをスタッフ間で共有して確認してまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	HPやInstagramを活用しております。	HPを新しくする予定です。Instagramも更新頻度を高めていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	鍵付き書庫を使って保存し、厳重に管理しております。	取り扱いには十分気を付けてまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	口頭でお話ししたことをLINEで確認するなどの工夫をしております。	引き続き分かりやすくメールやLINEで情報伝達できるように努めてまいります。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	70.0%	30.0%	現在行っておりません。	地域住民の招待や参加可能な行事は行えておりません。今後検討していきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	定期的に研修・避難訓練を行っております。	引き続き研修・避難訓練を徹底してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	BCPを策定し、避難時の備蓄を定期的に確認しております。避難訓練を半年に一度行っております。	引き続き定期的な確認と避難訓練を徹底してまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	保護者様にLINEや口頭で状況を確認しております。	お子様の情報を把握し、心配なお子様にはこまめに情報を確認するように致します。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%	アレルギー同意書を頂き、保護者様からご指示頂いた対応としております。	必要なお子様には十分留意し、お菓子の配布等を保護者様を通じて行うようにします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	安全計画を作成し、研修等でスタッフ間で共有しております。	引き続き定期的に研修を行います。
非常時等の対応	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	活動箇所のスタジオ内、公園での取り組み内容を周知しております。	引き続き保護者様に安心してご利用頂けるように周知してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	ヒヤリハットが出た際には終礼で話し合い、報告書を書いております。それに基づき研修を行っております。	ヒヤリハットを共有するとともに、再発防止を目的としてヒヤリハットを想定した研修も引き続き行ってまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	虐待防止研修を定期的に行い、身体拘束や虐待防止についての理解を深めています。	定期的に虐待防止研修を行うことで職員の理解をより深めていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	準備をしておりますが、必要な利用者様がいらっしゃいません。	引き続き準備は十分にしていきます。